



2021年 9月

第315号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長	山本 英次
副会長	茂木 稔
書記	花輪 宗命
会計	小口 多津子
直前会長	花輪 宗命
担当主事	中里 敦
ブリテン	茂木 稔 山本 英次 大久保 重子

国際会長	キム・サンチェ(韓国)	主題「世界とともにワイズメン」
スローガン	「愛と尊敬で世界を癒そう」	
アジア太平洋地域会長	大野 勉(神戸ポート)	主題:「100年を越えて変革しよう」
スローガン	「健康第一」	
東日本区理事	大久保 知宏(宇都宮)	主題:「私たちは次の世代のために何が出来るか」
スローガン	「絆を深める時」	
あずさ部部長	長谷川 あや子(八王子)	
主題	「道を拓く～愛と協力によって」	
クラブ会長	山本英次	主題:「コロナ禍を乗り越えて、新時代のクラブへ」

9月第一例会プログラム

日時: 2021年9月11日(土) 18:00~20:00
 会場: 北野事務所 2階大会議室
 担当C班 < 山本、大久保、茂木、並木(信) >
 受付: 並木、茂木 司会: 並木(信)
 開会点鐘 会長
 ワイズソング
 ワイズの信条
 ゲスト・ビジターの紹介 会長
 聖句・開会祈祷 司会者
 卓話 「コロナ禍にある西東京YMCAの“今”」
 西東京YMCA 担当主事 出沼一弥氏
 スマイル 茂木
 Happy Birthday
 連絡事項 会長・各担当
 閉会点鐘 会長

 緊急事態宣言下にあるため、会食はしないでおにぎりとお茶を配ります。持ち帰り自由。

花輪直前会長感謝会

望月隆珉

令和3年8月14日の11:00~13:00に八王子の大学セミナーハウスにて上記の食事会が開催されました。会場はいつも利用させて頂いている4階の食堂ラウンジです。しかし、現今のコロナ対策のために、机を二つ合わせた大テーブルに16人の方々が3人ずつ、6テーブルが広い間隔も出来ません。これくらい徹底しないとやはり安心は出来な感じました。
 司会は久保田さんが担当で始まり、ゲスト・ビジターの紹介の後に前会長への感謝の言葉が山本会長より有り、そ

先月の例会ポイント (8月)

在籍	13名	切手(国内・海外)	0g
メン	11名	累計	0g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	85%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	0円
ゲスト	3名	累計	11,550円
ビジター	0名	オークション	0円

今月の聖句 (2021年9月)

そこへ、律法学者たちやファリサイ派の人々が、姦淫の現場で捕らえられた女を連れてきて、真ん中に立たせ、イエスに言った。「先生、この女は姦淫をしているときに捕まりました。こういう女は石で打ち殺せと、モーセは律法の中で命じています。ところで、あなたはどうかお考えになりますか。」イエスを試して、訴える口実を得るために、こう言ったのである。イエスはかがみ込み、指で地面に何か書いておられた。しかし、彼らがしつこく問い続けるので、イエスは身を起こして言われた。「あなたがたの中で、罪を犯したことがない者が、まず、この女に石を投げなさい。」そしてまた、身をかがめて地面に書き続けられた。これを聞いた者は、年長者から始めて、一人また一人と立ち去ってゆき、イエス独りと、真ん中にいた女が残った。
 (新約聖書・ヨハネによる福音書 8:3~9)



の入会
[江戸切子ガラスのグラスを手にする花輪前会長](#)

会長を、特にコロナにより翻弄された1年を乗り切った苦労に対し、記念品が贈られました。

そのプレゼントとは、その場で包装を解いてみると、なんと「江戸切子の小型グラス」でした。お酒の好きな方には冷酒を頂くには最適なグラスに見えました。

花輪さんの短いお礼の言葉があり、次には今年のあずさ部部長の長谷川さんの1年の目標とすることの話がさわやかに語られました。食前の感謝では担当班内にクリスチャンがその日は出席が無いので、福田さんが担うことになりました。さて、ここからはテーブルに用意されたおいしそうな弁当を前に、副会長の茂木氏の乾杯の音頭で、いつもならビール、ワイン、お酒がテーブルに並ぶところが、今回はコロナの下での会食なので、ウーロン茶、緑茶、麦茶、ジュース、等がこの乾杯の音頭で静かに飲まれました。この日は外気温が低く20度を少し超えるくらいで飲み物は減りません。用意された立派な弁当箱を開けると、そこには御馳走が詰まっており、ローストビーフやスモークサーモンなどのビールを飲みながら食べたらさぞ満足したであろう品々ばかりでした。また、その量も多くとても昼には食べきれないものでした。

ゆっくりと食事をして、隣の人ともあまりおしゃべりも出来ず、またお弁当も食べきれずに最後のホットコーヒーでやっと食事心地を味わいました。



[直前花輪会長感謝会](#)

食後、参加者の1分間スピーチがあり、いろいろな話がありました。その中でわくわくビレッジの菅野館長が話した内容が気になりました。彼の話に依るとビレッジの体育館のバスケットに車椅子の方が良く見えるそうです。後から分かったのは彼女がパラオリンピックの女子バスケットボール日本代表選手の一員であるという事です。お名前は小田島理恵さんです。これからのパラオリンピックでのご活躍を期待しております。

川越クラブ8月IBC例会に出席して

久保田貞視

8月28日(土) 11:00~12:00 埼玉YMCA川越センターとZoomのハイブリッドで川越クラブと米国オレゴン州のセーラムワイズメンズクラブとの合同例会が開催され、出席しました。出席者はセーラムクラブから6名、ネパールのルンビニクラブから1名、ワイズのピジター6名、川越クラブ7名の19人。

最初に会長の挨拶の後、ゲスト紹介。続いて大久保東日本区理事、大澤関東東部部長の挨拶があり、両クラブの活動紹介になりました。

セーラムクラブからはパワーポイントでセーラムYMCAのキャンプ場がハリケーンで倒壊し、キャンプ場も荒れてしまったのをワイズメン・YMCAのメンバーに加えて大勢のボランティアにより多くの時間をかけてキャンプ場を整備して使用可能にしたこと、セーラム地区には大勢の難民がおり彼らに資金的援助と共に生活面の支援を継続している二つのプロジェクトと古本を集めて販売代金をYMCAに寄付しているなど報告がありました。一方、川越クラブもパワーポイントで川越の街を紹介し、チャーター時、設立20周年記念例会の写真と共に長年継続しているアースデイ川越の環境保護の活動に参加、紅赤の販売により代金をYMCAに寄付、子ども食堂などを実施していることを紹介された。また、ルンビニクラブ(ネパールであるが、

香港部に属している。)も子供の教育や子供のための活動などを紹介された。

クラブ紹介の後は出席者に感想を求められ数人からIBC例会で相互の活動紹介は有意義であること、IBC例会がZoomなら可能になることなど非常に良い例会であったと意見を述べられた。

通訳は利根川恵子元理事が担当され、非常に分かり易く通訳され、両クラブメンバー

は十分理解できたと思われました。Zoomのため各メンバー間の個別の話は難しい面あるが、例会を継続する場合にはお互いに紹介できるように両クラブが幅広く活動をしている必要を感じました。

当クラブもIBCの高雄ポートクラブとのIBCを検討したいと思います。当クラブからは小口さんも出席。

YMCA便り

中里 敦

- ◆9月になりましたが、これから台風の季節を迎え大きな災害にならないことを願います。緊急事態宣言下で様々な制約がある中、出来ることを模索しながら各活動が進められています。
- ◆7月7日(水)～16日、東陽町コミュニティーセンターにて第6回平和展「長崎原爆被災写真パネル展」を開催した。このパネル展は、平和といのちの大切さを訴えるために毎年行っている。
- ◆7月17日、しのもめYMCAこども園は初めての試みとして「みらいをまもろうSDGs チャリティーマルシェ@しのもめYMCAこども園」を開催した。園内には「こどもコーナー」、「SDGsクイズ」コーナー、「牛乳パックエコジオラマ展示」など、楽しみながら環境や貧困を考えるブースを設置した。
- ◆8月24日から開催される東京パラリンピックの聖火を全国各地でおこす「採火式」に、江東区内の高齢者施設を代表して、東京YMCAが運営するグランチャ東雲(江東区児童・高齢者総合施設)が協力した。8月20日に江東区文化センターで開催された採火式には、菅谷淳総主事とグランチャ東雲館長の口原恵美子氏が出席し、事前にグランチャ東雲の来館者にパラリンピックへの思いなどを記してもらった短冊を燃やし、ランタンに点火した。

<東京YMCA主な行事予定>

- ・「第35回インターナショナル・チャリティーラン」
(スマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催)
個人参加：10月16日～22日
チーム参加：10月23日～31日

ひっじぐも便り

国際ボランティアサークルひっじぐも

二年 宮内

こんにちは、中央大学文学部2年の宮内です。先日私はひっじぐもの勉強会で発表しました。

テーマは「エコバッグは本当にエコ?」です。海洋プラスチックごみ問題を始めとする環境問題への対応として、昨年7月からレジ袋の有料化されました。これによりエコバッグへの注目度が上がりました。

ではここで2つの質問をします!まずエコバッグを持っていますか?また何個持っていますか?質問の結果から注目したいのは、持っているエコバッグをどれくらい使用しているかということです。

ここでライフサイクル・アセスメントという視点でエコバッグのエコについて考えます。ライフサイクル・アセスメントとは、ある製品の環境負荷を原料採取から処分段階まで含めて評価することです。今回は二酸化炭素排出量のデータを取り上げてレジ袋と比較しました。

研究結果によると、エコバッグはレジ袋の約50倍以上の二酸化炭素が排出されていると分かりました。またレジ袋を一回使用するよりも環境の負荷を減らすためには、紙袋…11回、ポリエステル製バッグ…35回、布バッグ…840回と繰り返し使う必要があるとされています。

このようにレジ袋の使用が以前よりも減り、レジ袋のごみ自体も減ったと思われるのですが、環境への負担は簡単には減らないというエコバッグの問題点を学べました。この勉強会を通して私たちにできることも考えました。

まず今あるエコバッグを大切に長く使い続けること、レジ袋は買ったとしても再利用するなどがありました。また発展的なものとして、着なくなった洋服でエコバッグを作るという案も出ました。みなさんもぜひこれらの案を参考にしてみてください!

今月の聖句によせて (2021年9月)

入国管理局の収容施設で、収容中のスリランカ人の女性が死亡した事件は、マスコミでも大きく取り上げられ、社会に大きな衝撃を与えました。オーバーステイを理由とする身柄の拘束であったということです。収容中に健康を損ね、はげしい下痢や嘔吐などで体重も大きく減少、本人による点滴や入院の要望も聞き入れられず、医師などからの仮放免の提言もあったということですが、そのまま収容施設でなくなりました。収容中の処遇のあり方のみならず、来日した二人の妹や支援者による死因の調査や記録の開示の要請への不適切な対応など、非人間的と思える入管行政のあり方に身の震えるような感情を覚えました。そして、頭をよぎったのが、「有馬四郎助」がいたらどうしていたか、との思いでした。明治、大正、昭和にかけて、クリスチャンの行刑官として人々の尊敬を集め、国内のみならず海外においても、その行刑思想と実践は広く伝えられた人です。行刑官として働く中で、逃亡した収監者が捕らえられて帰ってくると、「帰ってくれた」と涙を流して喜んだり、新入りの収監者を迎えたときは、「君だけが罪人だとは思っていない。私自身罪人の頭だ」というような、当時、考えられないような言葉をもって迎えたということです。無期徒刑囚が仮出獄を許され、刑務所の門を出たとき、身元引受人としてそこに待っていていた人は、平服の有馬典獄であり、朝食に客人として迎え、客間に数日間滞在させた、とのエピソードもあります。この有馬刑務官の存在は、今でも法務省の中では行刑官の模範として語り伝えられていることですが、働きの根底にあったのは、今月の聖句に示されているイエスの言葉ではないかと思えます。 並木信一

サギ草とのめぐり逢い



茂木さんご指導の下今年も咲きました。7月半ばから8月にかけて11輪のサギ草がベランダを賑わせてくれます。川幅の広い滝合川の中州に毎年一羽の白鷺にお目に掛かります。中州で水遊びをしているのでしょうか、しばし果然と美しい姿に見とれています。何故一羽なの、お友達がいないの、考えて居るうちに飛び去って行きます。

我が家のサギ(草)はどこへも行きません。でも時期が来れば黄ばんで、今年はサヨナラ、自分の美しかった姿も知らず、つまれてしまいます。

では又ネ! 栄養あげるので、来年は今年よりも大きく、美しい姿を期待しますからネ〜とベランダでの小さな物語です。 福田勝江

花の後のサギソウの手入れ

9月に入るとサギソウの花も茶色になってしまい、とても見るのには耐えられません。その様になったらすぐに花を摘み取り茎はそのままにしてください。葉は10月末に茶色になって枯れてきます。

それまでに大切な作業が有ります。それは施肥をすることです。花を扱う店では必ずハイポネックスと言う液体肥料が売られています。その1,000倍液を作りその液体をジョウロなどで与えることです。この肥料分が翌年咲く花の根塊を大きく太らせます。これが最大の作業です。

9月中旬から1週間から10日おきに忘れずに施肥をやって下さい。葉が10月の末に枯れるまでに5~7回はやれると思います。サギソウは水が多すぎても根腐れすることは有りません。

葉が枯れても鉢の中の土は乾燥しないように週に一度は水をやって下さい。寒さには大変強い植物です。

それと保管場所は霜が降りるところには置かないようにしてください。霜で根塊が持ち上げられることが有ります。来春、5月の初旬に新芽が地上に出ます。秋の手入れの良かったものでは3倍に増えています。それを目指して秋の手入れをしてください。そして来年を待ちましょう。

(茂木 記)

身の回りのデジタル化の行方へとブリテン編集

茂木 稔

一般の人々にとってデジタルが身近に感ずるようになったのは、1995年のパソコンのOSウィンドウズ95が出た時ではないでしょうか。昨今はコロナ禍により、人々が集うことを避けてZoomという便利ではあるが少し味気が無いソフト上で集い、話し、検討をするような社会となって来ております。

これはデジタル化に問題が有るのではなく、あくまでもコロナ禍ゆえの問題なのではないでしょうか。

時を同じくしてパソコンの接続ではADSLが廃止されて、光ケーブルとなり、接続方法もWi-Fiや5Gが一般化してきました。そして今はスマートフォンが必要不可欠なものになって来ています。

ところでパソコンでやるブリテンの編集について考えてみると、いまはウィンドウズ10のOSで、各種の新しいアプリケーションソフトが必要になってきています。

今年の1月にパソコンを買い替えてウィンドウズ10にしましたが、それに伴いワードのソフト2019を導入して、殆ど他のソフトも新しく買い替えました。

今度はそれ故に慣れない画面表示ばかりで編集に当たるものの、今までの慣れ親しんだ画面から全く別物の表示になってしまいました。

前のワードの表示の中にこの文章の「詳細」を細かく示す箇所が有り、原稿依頼者から来た文面をこれにより点検してブリテンの様式に合うように変更していましたが、その同じ機能の箇所が新しいワードの上では分からず大変困っているのが実情です。

故に、編集が途中で停止せざるを得なくなり、文を書いた方に送る方法を別にして頂くことが起こります。

今日は面白いことを発見しました。私の行きつけの歯科医に行った折に椅子に座るとその前に設置しているパソコンを開き、顎のレントゲン写真を映し出します。そこに利用されていた画面が出てくと、何とウィンドウズXP

(2008年6月終了)であったのです。

もう15年位も前のソフトであり、セキュリティは全く無くなっているはずですが。しかし良く考えてみるとそのパソコンを外部のパソコンと繋いでなければ問題は何も起きないはずですが。なるほどと感心しました。

色々パソコンでは悩まされますが、私は認知症予防の大切な取り組みと理解して、毎日4~5回はパソコンに向いブリテンの編集にも喜んで当たっているのです。

〈報告〉

8月第二例会

- ▼日時 2021年8月28日(土) 18:00~19:40
- ▼会場 八王子市北野事務所2階大会議室
- ▼出席者 ・A班:長谷川、小口 B班:久保田、花輪 C班:山本、茂木、並木(信)

A. 報告

1. 2020年度 決算報告修正: 小口会計
2021年度 予算
2. あずさ部報告: 長谷川部長
*エクステンション委員会: 部長通信No.3にて報告済
*第25回あずさ部憩いの森部会: 2021年10月16日(土) ZOOMで
3. ワイズナイトフォーラム Zoomへの参加について:
〔参加予定〕山本、久保田、花輪
*第1回: 9月19日(日) 20時~21時
卓話者(藤田 智先生)
*第2回: 10月24日(日) 20時~21時
卓話者(利根川恵子様)
4. カフェドフレッシュワイズ: 8月28日(土)
13時~システム障害で予定の花輪は参加できず。
5. 東日本区臨時時代議員会ワークブック 8月28日(土) 19時~21時 Zoom参加 議決権行使済

B. 議案

1. 第25回あずさ部大会: 10月16日(土) Zoomで対応 長谷川部長
2. チャリティラン(らくらくウォーク)への対応:
クラブ単位の対応としては、既定方針通り、八王子クラブ、武蔵野多摩クラブ、多摩みなみクラブ連名で、10万円を西東京YMCAに寄付
3. ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム:
9月11日~12日 Zoomにて開催。有志参加。
4. ロースター(今年度版): 編集に手間取っている模様だが、八王子クラブとしては、プリント分(1冊700円)を14部を発注している。
5. 次回以降の例会予定:
*9月第1例会: 9月11日(土) 18時~20時 @北野事務所 卓話者:出沼一弥様(依頼済)
*10月第1例会(A班担当) 10月9日(土) 18時~20時 @北野事務所
*11月第1例会(B班担当) 11月13日(土) 18時~20時 @北野事務所
*9月~11月の第2例会は、Zoomで開催
*12月のクリスマス例会(C班担当)及びチャリティ・コンサートについては、9月の第2例会で話し合う。

9月の誕生日の皆さん
大久保重子さん
9月12日

高尾わくわくビレッジ便り

館長 菅野牧夫

先日ワイズの並木さんがわくわくビレッジにいらして、ワイズガーデンの雑草むしりをしていただきました。どくだみに侵略されていた庭がきれいになりました。夏の暑い日差しの中、ありがとうございました。

8月の利用もコロナウイルスの影響を受けて宿泊者は激減しています。夏休みに利用の多い青少年団体のキャンセルが続き、宿泊者数は1600名強にとどまりました。東京YMCAも夏の宿泊キャンプを取りやめてディキャンプをわくわくビレッジで行いました。3期合計8日間の日帰り利用がありました。子どもたちは楽しそうに火起こし体験や焼き板づくりに汗を流していました。無事に終了したようでホッとしています。

YMCAのスタッフに聞いたところ、ディキャンプの申し込みを始めてすぐに埋まってしまったようです。わくわくビレッジでも夏休みに4つのイベントを計画しました。染物体験、キャンドルをともして夜を楽しむ体験、昆虫を捕る体験、理科実験体験とバラエティーに富んでいました。

どちらもキャンセル待ちがでるまで集まりました。天候不順や緊急事態宣言の影響で2つのプログラムは中止になってしまいましたが…。9月にもコケ玉を作るプログラムを計画していますが予約開始2日目です。

YMCAでも、わくわくビレッジでも、今はイベントを開催すると人が集まってきます。社会全般的に子どもたちが楽しめる体験や親子で楽しめる体験に飢えているようです。1年半も抑制されていけば仕方がないことかもしれませんね。困っているところに手を差し伸べる、私たちにしてみんなに知ってもらおう良いチャンスが近づいてきています。

コケ玉



べ
的
験
ま
た
近

